

## 平成28年度ユネスコスクール年次報告書

報告期間：平成28年4月～平成29年3月

### 1. 学校概要

学校名 見附市立見附第二小学校

種別  保育園・幼稚園  小学校  小中一貫教育  
 中学校  中高一貫教育  高等学校  
 教員養成  技術/職業教育  
 特別支援学校  その他 ( )

所在地 〒954-0022  
新潟県見附市杉澤町3561

E-mail mdaini@mituke-ngt.ed.jp

Website http://www.mitsuke-ngt.ed.jp/~mdaini/

児童生徒数 男子 14名 女子 13名 合計 27名  
 児童・生徒の年齢 7歳～12歳

### 2. 実施活動（複数選択可）

- 地球規模の問題に対する国連システムの理解
- 国際理解
- 世界遺産
- 平和・人権
- 環境
- 気候変動
- 生物多様性
- エネルギー
- 防災
- 食育
- 伝統文化
- そのほか ( )

### 3. 活動内容

(1) 1年間の主な活動内容について記載願います。

#### ① 「杉沢の森」「本明川」を中心に据えた自然体験活動の展開



地域の里山（杉沢の森や本明川）を中心とした自然観察・調査活動、自然保護活動により、子どもたちの自然を大切にしようとする意識が高まっている。

#### ② 環境にやさしい取組（リサイクル活動、EM菌による給食の残食堆肥化、エコキャップ運動等、いわゆるエコ活動の実践や貢献）



リサイクル活動



エコキャップ運動



EM菌による堆肥化

しっかり分別すれば燃やすゴミを減らし、二酸化炭素の量を減らせるなど、地球の温暖化と環境の関係に気づき、地球温暖化防止を目指したエコ活動の実践力が身に付いてきている。

#### ③ 降積雪量観測の継続

昭和44年から、市の依頼を受け、グラウンド等の降積雪量観測を行っている。雪害対策の参考データにもなっている。その取組が認められ平成24年には内閣府社会貢献青少年表彰を受けた。今年度も継続して観測を行い、降積雪量の変化に目を向けている。

統計資料の集積により温暖化傾向の状況をつかみ、地域社会へ貢献しようとする意識向上が図られている。



積雪量を計測する様子

④ 地域の伝統食を調べたり、作ったりして継承しようとする活動



青菜の栽培



サツマイモ掘り



青菜漬け



伝統食作り（煮菜）

地域人材から協力してもらい、望ましい食生活についての学習、野菜の栽培、伝統食作り等を行った。高学年児童は、食材の育ち方を学び、伝統的な食である煮菜作りにも挑戦した。児童は、文化の後継者としての自覚をもつことができた。

(2) 活動時間について（下記から選択して下さい。）

- 通常の授業時間を使用（総合的な学習の時間を含む）
- 時間外活動の時間を使用
- ユネスコクラブの活動として実施
- その他（降積雪量観測については、登校時の朝活動として行った）